



六月(小) 水無月 室宿

六月六日芒種の節より
月命壬午 白水星の月
暗剣殺北の方

旧四月小
五月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	月	つちのえさる	三碧	電波の日、写真の日、万国郵便連合加盟記念日、氣象記念日、相模川他帖解禁 旧四月小	十五	赤口	たいら	畢	ちいみ	4.27	17.22	3.25	22.29
2日	火	つちのとり	四緑	横浜開港記念日	十六	先勝	さだん	背	十し	4.26	18.52	4.07	23.08
3日	水	かのえいぬ	五黄	○望一時一九分	十七	友引	とる	参	背	4.26	18.52	4.54	23.09
4日	木	かのと	六白	歯の衛生週間、伝教大師忌、三隣亡	十八	先負	やぶる	井	大みぎう	4.26	18.53	5.46	23.46
5日	金	みづのえね	七赤	世界環境デー、熱田神宮祭、宇治県神社祭、鶴岡大山犬祭、八せん始め	十九	佛滅	あやぶ	鬼	天おん	4.26	18.53	6.43	23.39
6日	土	みづのとし	八白	芒種八時五八分、金沢加賀百万石まつり(6日、7日)、広島とうかさ(6日、7日)、不成就日	廿	大安	あやぶ	柳	天おん	4.25	18.54	7.44	23.19
7日	日	きのえとら	九紫	東京鳥越神社例大祭(6日、7日)、危険物安全週間(13日迄)、三隣亡	廿一	赤口	なる	星	母倉	4.25	18.55	8.48	23.19
8日	月	きのと	一白		廿二	先勝	おさん	張	母倉	4.25	18.55	9.53	23.19
9日	火	ひのえたつ	二黒	東京日枝神社山王祭(7日、17日)	廿三	友引	ひらく	翼	大みぎう	4.25	18.56	10.59	23.02
10日	水	ひのと	三碧	○下弦○時四二分、一粒万倍日	廿四	先負	とづ	軫	十し	4.25	18.56	12.04	23.42
11日	木	つちのえま	四緑	入梅一四時二分、一粒万倍日	廿五	佛滅	たつ	角	くま日	4.25	18.57	13.10	23.18
12日	金	つちのひび	五黄		廿六	大安	のぞく	亢	神よし	4.25	18.57	14.16	23.42
13日	土	かのえさる	六白	チャグチャグ馬コ、庚申	廿七	赤口	みづ	氐	大みぎう	4.25	18.57	15.21	23.30
14日	日	かのと	七赤	大阪住吉大社御田植神事、不成就日	廿八	先勝	たいら	房	神よし	4.25	18.58	16.25	23.18

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、不連続線が生じたりして雨が降り続くのである。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に入梅とか梅雨の「梅」は、ちようどこのころ梅の実が熟することから出ている。

高温多湿であるが、気圧の谷に入ったとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するのもこの月である。細菌の繁殖に最適な気候であり、寒暖に差がある季節だからということがいえる。たまの晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れを、梅雨どきを無事に過ごすよう心掛けよう。

【冠】この月に限ってと言う行事は別にないので、出

日	曜日	干支	九星	行事	廿九	友引	さだん	心	日出入	月出入	満潮	干潮	
15日	月	みづのえいぬ	八白	北海道神宮祭、弘法大師誕生会	朔	大安	とる	尾	ちう日	4.25	18.58	16.51	22.18
16日	火	みづのと	九紫	●朔二三時○五分、柏崎えんま市、八せん終り、旧五月大	二	赤口	やぶる	箕	●	4.25	18.59	17.31	23.02
17日	水	きのえ	九紫	伊勢神宮月次祭、奈良率川百合祭、興教大師誕生会、九星陰道始め、甲子	三	先勝	あやぶ	斗	神よし	4.25	18.59	18.43	23.42
18日	木	きのと	八白	海外移住の日	四	友引	なる	牛	百事よし	4.25	19.00	19.16	23.38
19日	金	ひのえとら	七赤	桜桃忌、三隣亡	五	先負	おさん	女	天おん	4.25	19.00	20.51	23.13
20日	土	ひのと	六白	京都鞍馬寺竹伐り会式、旧端午、不成就日	六	佛滅	ひらく	虚	天おん	4.25	19.00	22.05	23.48
21日	日	つちのえたつ	五黄	父の日	七	大安	とづ	危	十し	4.25	19.00	22.38	23.13
22日	月	つちのと	四緑	夏至一時三三分、己巳、一粒万倍日	八	赤口	たつ	室	十し	4.26	19.00	23.09	23.48
23日	火	かのえうま	三碧	沖繩慰霊の日、オリンピックデー、大つち、一粒万倍日	九	先勝	のぞく	壁	大みぎう	4.26	19.00	23.40	23.18
24日	水	かのとひび	二黒	●上弦二〇時〇三分、東京芝愛宕千日詣り、清正公忌	十	友引	みづ	奎	神よし	4.26	19.01	24.00	23.53
25日	木	みづのえさる	一白		十一	先負	たいら	婁	神よし	4.27	19.01	24.12	23.44
26日	金	みづのと	九紫	国連憲章調印記念日	十二	佛滅	さだん	胃	神よし	4.27	19.01	24.18	23.44
27日	土	きのえいぬ	八白		十三	大安	とる	昂	ちう日	4.27	19.01	24.26	23.44
28日	日	きのと	七赤	貿易記念日、不成就日	十四	赤口	やぶる	畢	●	4.27	19.01	24.30	23.44
29日	月	ひのえ	六白		十五	先勝	あやぶ	觜	大みぎう	4.28	19.01	24.45	23.44
30日	火	ひのと	五黄	大はらい、夏越祭	十六	佛滅	あやぶ	参	大みぎう	4.28	19.01	24.55	23.44

※日の入りの最も遅いのは、日本では夏至から七日後、最も早いのは冬至から十五日前である。

産より初誕生までの行事を整理してみよう。

この世に生をうけた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)につままれる。親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村の役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違う)には「お宮詣」といって氏神様の所にお参り(はらい)をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終えて、一年目の誕生祝いになるのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月の「母の日」と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきであろう。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真つ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。